

**〔長久手市行政評価票：平成 23 年度業務〕**

担当課・係名		秘書広報課広報広聴係 【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）56-0601 内線224】							
第5次総合計画掲載		基本方針（5 みんなの力を結集する自治と協働のまち） 基本施策（5-4 行政情報を提供し、住民意見を聴く機会を充実する）							
業務の名称		広報事業							
(1) 根拠法令・条例									
(2)業務期間		開始した年度	昭和40年度	終了（予定）年度	-	年度			
(3)業務概要	毎月1日に広報紙（昭和40年6月1日から）を作成し、全戸配布している。			国・県・民間と類似した事業、他市町の実施の状況 全ての行政機関で行っている。					
	① 象（誰、何を対象としているか）		→	状態を表す指標			単位		
(4)業務の目的と指標	市内に住む人全てに、行政情報を伝える。			対象指標	ア	市内総人口	人		
	②手段（どのような事業で）※実施した活動		→	活動指標	ア	広報紙・啓発広告の発行部数	部数		
	広報の定期発行			イ	発行回数	回			
	③意図（対象をどのような状態にしたいか）			→	成果指標	ア	情報入手手段に広報紙が占める割合（H19住民意識調査）	%	
	広報紙により市民への行政情報提供を充実させる		イ						
	④成果指標設定の理由		ウ						
			広報紙を読みさえすれば必要な行政情報が手に入る状態を作ることができるようにするため						
	(5)指標の推移	①対象指標	ア	人	50,492	48,122	48,845	49,430	50,492
			イ						
			ウ						
②活動指標		ア	部数	20,183	23,400	23,600	24,000	24,500	
		イ	回	12	12	12	12	12	
		ウ							
③成果指標		ア	意見	100%	93.3%	93.3%	93.3%	95%	
		イ							
		ウ							
(6)事業費の推移	事業費	千円		19,800	20,172	20,282	21,548		
	うち	国費	千円		0	0	0	0	
		県費	千円		0	0	0	0	
		一般財源	千円		19,800	20,172	20,282	21,548	
		受益者負担	千円		0	0	0	0	
		延職員数(臨職)	人		0.68	0.68	0.68 (0.12)	0.68	
(7)遂行上の問題点、取組課題（簡条書きで簡潔に記載）									
個別に郵便等で通知している行政からのお知らせ（行政サービスの案内、行政手続に関する注意事項など）が、再度広報に載るため、紙面が膨らみ、発行費用が増加し続けている。									
(8)評価	必要性	A	行政からの情報をすべての市民に知らせるために必要。				総合評価  <b>A</b>		
	有効性	A	確実に全戸に配布される紙媒体であり、手段として最適なものである。						
	効率性	A	広報紙の見やすさ（デザイン）と費用とが最適なバランスとなっている。						
(9)今後の改善の方針	市民にとって真に必要な情報を精査して掲載し、紙面の簡素化を図ることで、もっと読みやすい広報紙を作成する方策を検討する。								

行政評価チェックリスト

必要性	市が関与することは妥当か		該当	
	①	法律で実施が義務づけられている事業	<input type="checkbox"/>	
	②	受益の範囲が不特定多数の住民に及び、財・サービスの対価の徴収ができない事業	<input checked="" type="checkbox"/>	
	③	住民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	④	住民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは住民の不安を解消するために、必要な規制、監視指導、情報提供、相談などを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑤	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網（セーフティ・ネット）を整備することを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑥	住民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	<input type="checkbox"/>	
	⑦	民間のサービスだけでは市域全体にとって望ましい質、量のサービスの確保ができないため、これを補完・先導する事業	<input type="checkbox"/>	
	⑧	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業	<input type="checkbox"/>	
	⑨	特定の住民や団体を対象としたサービスであって、サービスの提供を通じて、対象者以外の第三者にも受益がおよぶ事業	<input type="checkbox"/>	
	⑩	内部管理事務	<input type="checkbox"/>	
	事業内容は適切か		関連項目	
	⑪	事業開始時の目的を概ね達成するなど、実施意義が低下している。 (長年実施している事業、対象数が減少している事業)	(2)、(5)①	<input type="checkbox"/>
	⑫	社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化し実施意義が低下している。 (目的の設定が現状にあっていない)	(4)	<input type="checkbox"/>
	⑬	対象者、利用者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 (事業実績が前年と比べ低下している事業)	(5)②	<input type="checkbox"/>
	⑭	住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 (当初計画・予算などと比較して実績等が少ない事業)	(5)②	<input type="checkbox"/>
	⑮	国や他市町と比較してサービス対象や水準を見直す余地がある。 (他市町で廃止された、他市町と比べ供給量が大きい事業)	(3)	<input type="checkbox"/>
有効性	重複した事業が実施されていないか		該当	
	①	施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="checkbox"/>	
	②	国や県のサービスと重複している	<input type="checkbox"/>	
	③	民間のサービスと重複している	<input type="checkbox"/>	
		事業の成果はあがっているか		関連項目
	④	施策の目的達成のため、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 (成果実績向上につながる事業方法が他にない)	(4)、(5)	<input type="checkbox"/>
	⑤	市の施策への貢献度が高いとはいえない。 (目標設定が適切でない、成果実績と目標が大きく乖離している)	(5)	<input type="checkbox"/>
⑥	事業を継続しても成果の向上が期待できない。 (成果指標の実績が前年から向上していない事業)	(5)③	<input type="checkbox"/>	
⑦	厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	(4)	<input type="checkbox"/>	
効率性	実施主体は適切か		該当	
	①	民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用しても市民サービスが低下しない。	<input type="checkbox"/>	
	②	民間事業者、NPO法人、住民団体等を活用するとコストの低減が期待できる。	<input type="checkbox"/>	
	③	民間事業者、NPO法人、住民団体等が持つノウハウ等を活用できる。	<input type="checkbox"/>	
		コスト改善の余地はあるか		関連項目
	④	人件費の見直しにより、コストを下げる余地がある。 (臨時職員の活用などで人件費を下げられる)	(6)	<input type="checkbox"/>
	⑤	業務内容の見直しにより、コストを下げる余地がある。 (業務内容、委託内容の精査により業務量削減がはかれる)	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>
⑥	事務改善によりコストを下げる余地がある。 (作業の簡素化などにより時間や無駄を省ける)	(3)、(6)	<input type="checkbox"/>	
⑦	受益者負担に改善の余地がある。 (受益者負担＝受益者が負担すべき費用となっていない)	(6)	<input type="checkbox"/>	